

札幌商工会議所 観光・運輸部会

令和8年度 事業計画

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

1. 政策提言活動

観光・運輸部会

(1) 国・北海道への要望提出

当部会からの要望事項を取り纏め、全道商工会議所大会(令和8年7月 稚内市)を通じて、国・道への要望提出を行う。

(2) 札幌市への要望提出

業界の課題解決や中小企業の振興策などについて、部会における要望事項を取り纏め、札幌市関係部局への要望提出を行う。

【意見聴取】

対 象: 正副部会長・正副分科会長・議員・部会常任委員 等

期 間: 令和8年2月18日(水)～3月6日(金)

2. 観光閑散期対策

観光・運輸部会

(1)中島公園紅葉ライトアップ～SAPPORO AUTUMN ILLUMINATIONS～

観光閑散期ならびに夜間における新たな魅力・賑わいの創出を目的に開催する。

開催時期:2026年10月23日(金)～11月3日(火・祝)

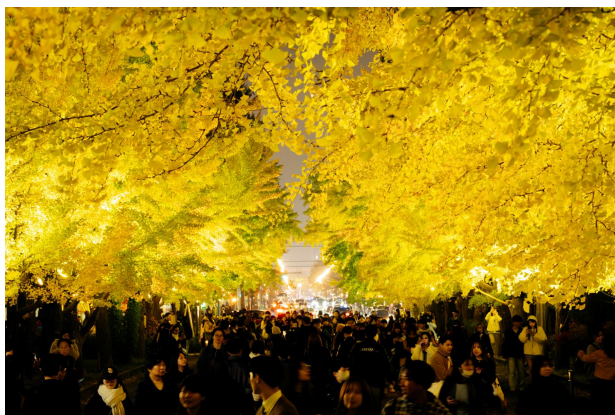
会場:中島公園

会場展開:イチョウ並木、菖蒲池、日本庭園、豊平館

KPI【目標来場者数：25万人】

■連携施設募集

- ・入場半券付き宿泊プランの造成
- ・入場半券の提示でサービスの提供(公式WEBサイトに店舗名・サービス内容掲出)



2. 観光閑散期対策

観光・運輸部会

※昨年の様子（イチョウ並木）



3. 札幌観光魅力開発事業

観光・運輸部会

(1)札幌夜景カフェ～Sweet Light Garden～ 新

夜景をスイーツやエンタメと一緒に楽しめる空間を創出し、札幌の夜景の新たなファン獲得を目指すイベントを実施する。

開催時期:2026年8月29日(土)～30日(日)

会場:大倉山ジャンプ競技場

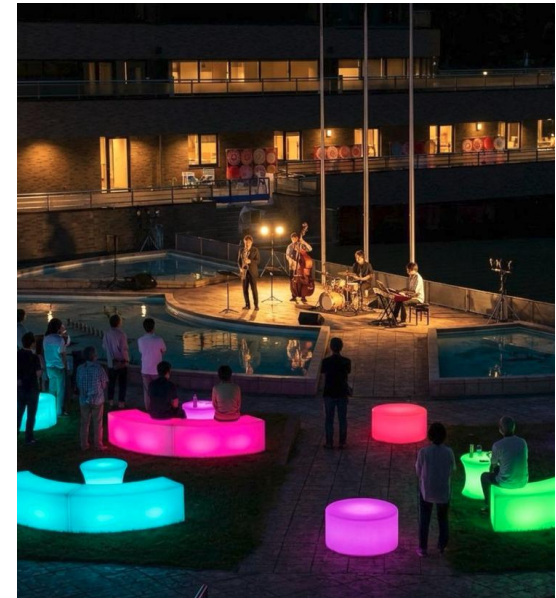
KPI【目標来場者数:1000人】

■イベントの実施

- ・市内高校生による吹奏楽・ダンスプレイ
- ・競技ジャンパーによるNIGHTジャンプ

■オリンピックミュージアム屋上特別開放

屋上から広がる夜景を見ながらスイーツやアルコールを楽しむ特別な空間を創出



3. 札幌観光魅力開発事業

観光・運輸部会

※オリンピックミュージアム屋上 特別テラスイメージ



3. 札幌観光魅力開発事業

観光・運輸部会

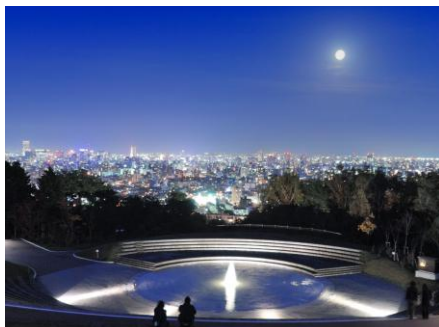
(2) 札幌夜景周遊バスの運行 新

「夜間観光」推進において“夜景”スポットは非常に重要となるが、インバウンド・観光客が公共交通機関でたどり着くには難しいスポットもあることから、狸小路～すすきのと夜景スポットを巡る周遊バスを運行し、夜の動きを生み夜景観賞前後での消費拡大を図る。

開催時期: 2026年8月の毎週土曜日 ※最終週のみ土日

■“芸妓バスガイド”

- ・インバウンドに人気の“芸者”をバスガイドに！
車内で芸妓が各スポットのご案内を行い、インバウンドにとって特別な体験を提供。



3. 札幌観光魅力開発事業

観光・運輸部会

(3)屋外サウナイベント「サウナの街サっぽろ FINAL」

サウナでの観光振興を目的に取り組んできた日本最大級の屋外サウナイベント。市内にもサウナが併設された観光施設が多く建てられている現在、一定の役割を終えたと考え、次回第10回記念開催にて終了とする。

開催時期:2026年7月10日(金)~12日(日)

会 場:ガトーキングダムサッポロ

■内容 **KPI【イベント来場者：1,000人、スタンプラリー参加：130名】**

- ・会員サウナ施設のイベント出展募集
- ・市内サウナ施設を巡るスタンプラリーの達成者に「サウナの街サっぽろ」サウナー認定カードを配布。2027年末までの期間、各種優待が受けられる。



3. 札幌観光魅力開発事業

(4) 札幌おもてなし委員会の運営

観光都市札幌として、札幌のまち全体のおもてなしのレベルアップを目的に様々な取り組みを行う。

【令和8年度実施予定(案)】

- ① 豪雪・災害時のインバウンドへの交通情報の一元提供体制の構築
- ② スマイル・サービスバッジの普及促進
- ③ おもてなし語学セミナー
- ④ さっぽろグルメ・お買物NAVIの発行



4. 飲食店支援事業

(1) さっぽろ外食産業研究会の運営

外食産業を営む企業間のコミュニティを形成し、交流会や先端地域への視察、行政との意見交換を通して、日々変わり続ける消費者ニーズを的確に捉え、札幌最大の魅力である「食」文化の発展を目指す。

【令和8年度実施予定(案)】

- ① 例会の実施(セミナー&交流会)
- ② 札幌市経済観光局・保健所との意見交換会
- ③ 先進地視察会・交流会



4. 飲食店支援事業

(2) 飲食店・観光施設向けショート動画作成支援 新

Instagramやyoutubeなどでの「ショート動画」が、再生しやすく移動時間やスキマ時間に見られることから人気を博し、動画作成の専門家も多い。しかし季節のメニューや特別プランなど年間さまざまな取り組みを行う観光事業者にとって毎回の外注コストの負担は難しいことから、社員が簡単に作れるPR動画の作り方セミナーを実施する。

K P I 【InstagramでのPR支援：12社の新規作成動画】

【作成した動画のPR支援(案)】

- ① 札幌商工会議所公式SNSアカウントでの発信
- ② SAPPORO TOURISMでの配信
- ③ Instagramでのカルーセル広告の実施



5. 集客促進事業

(1) 札幌市内運営イベントへの協力

「YOSAKOIソーラン祭り」や「さっぽろラーメンショー」など札幌市内で開催され、集客が見込める大型イベントへの運営協力、出展募集周知を行う。



(2) 札幌観光大使の委嘱・運営

札幌出身者や札幌にゆかりのある経営者・個人事業主を札幌観光大使に委嘱し、企業や自身のSNS等で、札幌の魅力について発信していただく。

【札幌観光大使】 245名(令和8年3月現在)



6. 観光情報発信・PR

観光・運輸部会

(1) 観光情報サイト「SAPPORO TOURISM」の運営

有名スポットから、少しディープなスポットまで、札幌市民から寄せられたおススメ観光スポットや観光ルートを掲載する情報サイト「SAPPORO TOURISM」を運営する。

INSTAGRAMフォロワー数:1,350人

KPI【フォロワー数:2,500人】



(2) 観光プロモーション活動

札幌市と連携し、夜間観光や新たな観光コンテンツに加えて、会員企業の施設やメニューなどのコンテンツPRを道外・海外に対して実施する。

【出展予定(案)】

道外 東京(ツーリズムEXPO)
(越谷レイクタウン)

海外 台湾(日本の観光・物産博)
韓国(Travel Show)



7. 運送業界振興事業

観光・運輸部会

(1) プロドライバー向け研修施設設立に向けた調査研究

運送業界ではドライバー不足が大きな課題となるなかで、プロドライバー向け研修施設の設立により、北海道でドライバーとなるうえで懸念材料となる「冬道」での安全運転の研修や、「慣れ」による事故防止など、業界として育成制度が充実することで人材確保に繋げることを目的とする。

【令和8年度実施予定(案)】

- ・先進施設への視察会の実施
- ・設立に向けた情報収集と調査研究



7. 運送業界振興事業

観光・運輸部会

(2) 物流業界DXのPRによる人材確保

過去、最新技術を活用したソフト製品やAIを搭載した運行管理システムなど物流業界におけるDXを加速すべく様々な企業を集めて開催した「物流展示会」今年度は「業務改善EXPO」にて物流コーナーとして出展を行うことで、他業界目的で来場された方にも物流業界のDXをアピールし、業界のPRに繋げる。

【開催時期】

2027年1月27日(水)・28日(木) ※予定



8. 諸会議

正副部会長会議、正副部会長・正副分科会長会議、正副分科会長会議を開催し、部会・分科会の運営について協議する。

また、所属会員を対象とした分科会を開催し、広く会員企業の意見・要望を把握し、課題解決に繋げる。

<建設部会、観光・運輸部会合同会議>

日 程	令和8年4月23日(金)	合同会議	15:30~16:30
		立食懇談会	16:30~17:30
場 所	ホテルモントレエーデルホフ札幌		

<正副分科会長会議>

令和8年11月頃を予定

<正副部会長会議>

令和8年12月頃を予定

(1) 諸会議（正副部会長会議、部会連携会議等）

事業計画の策定や要望事項の深化へにつなげるために、正副部会長および正副分科会長等による会議を適宜開催し、部会の円滑な運営について協議する。また、諸課題の共有と業界振興を図るために、部会間の垣根を超えた連携や委員会との横断的な意見交換の場を設ける。

(2) 業界課題・要望等の調査

業界の課題や要望を把握するために、所属部会員へのアンケート調査等を行う。

(3) 部会親睦・交流

業界課題の共有と解決、技術の連携および業界内での親睦を図るために、所属部会間のみならず、他部会・分科会を含めた交流・意見交換を実施する。

(4) 情報提供（部会ニュースの発信等）

(5) 人材確保・育成支援

企業の人材確保や人材育成、活躍を支援するために、人手不足の課題を抱える中小企業に対して、女性、高齢者、外国人材、障がい者等、多様な人材の採用に向けた情報提供・情報交換の場を提供する。

(6) DX（デジタルトランスフォーメーション）の促進

業務効率化や生産性の向上を図るために、セミナー等による情報提供や専門家を通じた個社支援を行い、中小企業のデジタル化・DXを推進する。

(7) 会員新春交歓会の実施